

2024 年度事業報告

<奨学生選抜>

2024 年 6 月に募集要項をホームページに公開後、全国の高校約 400 校に、新たに基金の紹介パンフレットを加え、募集要項とポスターの三点を郵送した。基金奨学生と気軽に話ができるオープンハウスを実施した。募集についてオンライン説明会などの広報活動を行い、9 月から 10 月にかけて選抜試験を行なった。応募者数は昨年の 88 名から 79 名に減少した。二度の書類選考を経て、30 名に対して対面による面接試験を行い最終的に 12 名を合格者とした。4 月までに全員が進学先大学を確定した。合格者は前年度に比べ提携校が 1 校増えたため 1 名増加となった。

<広報>

「GB is my third place」というテーマで家族、職場に次ぐ 3 つ目のコミュニティーを作ろうというメッセージを受験生、基金生、卒業生、そして寄付者などの関係者に伝えることを目指した。受験生・新基金生に対する広報メッセージが浸透しつつある実感がある一方、卒業生の関心度に課題があり外部への情報発信だけでなく、関係者への情報発信を強化しファミリー文化を構築していく必要がある。

<募金>

受け取り寄付金は予算の 6 千万円を上回り前年度比 1 千 2 百万円増の 8 千 3 百万円となった。捨松スカラシップの支援者からの寄付金は前年度比 1 千万円増の 4 千 1 百万円となった。米国に資産を持つ支援者を広げることができた。募金委員会は月例会議を行い募金活動の具体策について協議し実行した。寄付集め用の Brochure を英文と和文で作成した。

<資金運用>

期末の資産配分は前年と大差はなく、正味財産の 57 % がドル建ての債券及び短期資金、7 % が REIT 及びインフラファンド、残りが円債及び円の短期資金となっている。今後 4 年間の支払い義務のあるドル建て奨学金とほぼ同じ金額をドル建て資産で保有している。

<奨学金給付>

奨学生 26 名に対して 1 億 1 6 百万円の奨学金の送金を行った。対予算では、奨学金支出が大きく上振れた。予算の為替レートは 145 円であったが実際のレートは 155 円であった。ドルベースでは奨学金支出は前年度 61 万ドルから 23.0% 増加の 75 万ドル。円ベースでは 36.5% 増であった。